股票代碼:5310

天剛資訊股份有限公司及子公司 合併財務報告暨會計師核閱報告 民國 103 年及 102 年第一季

地址:台北市中山北路三段27號3樓之5

電話:(02)6608-9000

天剛資訊股份有限公司及子公司 合併財務報告目錄 民國 103 年及 102 年第一季

項	目	頁	次
一、封 面		1	
二、目 錄		2	2
三、會計師核閱報告		3~	-4
四、合併資產負債表	*	5~	-6
五、合併綜合損益表		7	
六、合併權益變動表		8	
七、合併現金流量表		9)
八、合併財務報告附註		10~	-40
(一)公司沿革		10) ,
(二)通過財務報告之日期及程序		10)
(三)新發布及修訂準則及解釋之遊	適用	10~	-12
(四)重大會計政策之彙總說明		13~	14
(五)重大會計判斷、估計及假設不	確定性之主要來源	14	1
(六)重要會計項目之說明		14~	32
(七)關係人交易		32~	34
(八)質抵押之資產		34	1
(九)重大或有負債及未認列之合然]承諾	34	1
(十)重大之災害損失		34	1
(十一)重大之期後事項		34	1
(十二)其 他		34	ļ.
(十三)附註揭露事項		34~	35
1.重大交易事項相關資訊		34~	35
2.轉投資事業相關資訊		35	;
3.大陸投資資訊		35	5
(十四)部門資訊		35~	36



BAKER TILLY CLOCK & CO 正風聯合會計師事務所

台北市104南京東路二段III號I4樓(頂樓) 14th Fl.,111 Sec.2, Nanking E.Rd.Taipei 104, Taiwan, R.O.C. 電話:(02)2516-5255 傳真:(02)2516-0312

會計師核閱報告

No.16741031CA

天剛資訊股份有限公司董事會 公鑒:

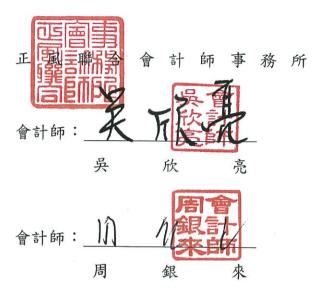
天剛資訊股份有限公司及子公司民國 103 年及 102 年 3 月 31 日之合併資產負債表,暨民國 103 年及 102 年 1 月 1 日至 3 月 31 日之合併綜合損益表、合併權益變動表及合併現金流量表,業經本會計師核閱竣事。上開合併財務報告之編製係公司管理階層之責任,本會計師之責任則為根據核閱結果出具報告。列入民國 103 年第一季合併財務報告之子公司中,天鑫投資開發股份有限公司係依其他會計師核閱之財務報告為依據,天鑫投資開發股份有限公司係依其他會計師核閱之財務報告為依據,天鑫投資開發股份有限公司民國 103 年 3 月 31 日之資產總額為 456,438 仟元,佔合併資產總額之 43%,民國 103 年 1 月 1 日至 3 月 31 日之營業收入淨額為 516 仟元,佔合併營業收入淨額之 1%。列入民國 102 年第一季合併財務報告之子公司中,天鑫投資開發股份有限公司及兆邦開發建設股份有限公司係依其他會計師核閱之財務報告為依據,該等子公司民國 102 年 3 月 31 日之資產總額為627,634 仟元,佔合併資產總額之 80%,民國 102 年 1 月 1 日至 3 月 31 日之營業收入淨額為 0 仟元,佔合併營業收入淨額之 0%。

除下段所述者外,本會計師係依照中華民國審計準則公報第36號「財務報表之核閱」規劃並執行核閱工作。由於本會計師僅實施分析、比較與查詢,並未依照一般公認審計準則查核,故無法對上開合併財務報告整體表示查核意見。

如合併財務報告附註四(三)所述,列入民國 103 年第一季合併財務報告之非重要子公司中,兆邦開發建設股份有限公司財務報表及所揭露之相關資訊,係依據該公司同期間未經會計師核閱之財務報表所編製。該子公司民國 103 年 3 月 31 日之資產總額為 4,823 仟元,占合併資產總額之 0%,負債總額為 801 仟元,占合併負債總額之 0%,民國 103 年 1 月 1 日至 3 月 31 日之綜合損益淨損為 25 仟元,占合併綜合損益之 2%。



依本會計師核閱結果及其他會計師之核閱報告,除上段所述子公司財務報表及所揭露之相關資訊倘經會計師核閱,對民國 103 年第一季合併財務報告及揭露事項可能有所調整之影響外,並未發現第一段所述合併財務報告在所有重大方面有違反證券發行人財務報告編製準則及金融監督管理委員會認可之國際會計準則第 34 號「期中財務報導」而須作修正之情事。



核准文號:金管證六字 09600000880 號 (80)台財證(六)第 53585 號

民國 103 年 5 月 9 日



天剛資訊股份有限公司及子公司 合併資產負債表

民國 103 年 3 月 31 日 〒02 年 12 月 31 日及 102 年 3 月 31 日

(民國 103 年及 102 年 3 月 31 日之合併資產負債表僅經核閱,未經一般公認審計準則查核)

單位:新臺幣仟元

資	產		103年3月31	日	102年12月3	1 日	102年3月31	
代碼	會計項目	附註	金 額	%	金 額	%	金 額	%
11xx	流動資產							
1100	現金及約當現金	六(一)	\$ 24,478	2	\$ 35,350	3	\$ 196,706	25
1147	無活絡市場之債券投資 一流動	六(二)、八	4,010	1	22,503	2	17,000	2
1151	應收票據	六(三)	2,486	_	1,623	_	687	_
1170	應收帳款	六(三)	39,941	4	80,183	7	67,317	9
1200	其他應收款	六(四)	77	i —	60	-	23	_
1220	當期所得稅資產		19	_	110	-	57	_
130X	存貨	六(五)、八	134,233	13	132,693	12	121,360	15
1429	預付房地款	六(六)、七	330,000	32	330,000	30	330,000	42
1410	預付款項		5,129	1	712	-	1,240	-
1470	其他流動資產		3,278	_	5,127	-	4,202	1
11xx	流動資產合計		543,651	52	608,361	54	738,592	94
15xx	非流動資產		-				-	
1550	採用權益法之投資	六(七)	221	_	221	-	221	-
1600	不動產、廠房及設備	六(八)、八	456,198	43	453,999	41	2,226	_
1840	遞延所得稅資產		9,148	1	9,743	1	12,798	2
1920	存出保證金		41,661	4	42,031	4	32,585	4
1995	其他非流動資產		1,269	-	1,331	_	1,371	-
15xx	非流動資產合計		508,497	48	507,325	46	49,201	6
1xxx	資產總計		\$ 1,052,148	100	\$ 1,115,686	100	\$ 787,793	100

(後附之附註係本合併財務報告之一部份)

天剛資訊股份有限公司及子公司 合併資產負債表(續)

(民國 103 年及 102 年 3 月 31 日之合併資產負債表僅經核閱,未經一般公認審計準則查核)

單位:新臺幣仟元

	負 債 及 權 益		103年3月31	I B	102年12月3	1 н	102年3月31	
代碼	會計項目	附註	金額	%	金額	1 %	金 額	1 %
21xx	流動負債		<u> </u>	70	<u> </u>	/0	正切	70
2100	短期借款	六(九)	\$ 19,000	2	\$ 32,000	3	\$ 17,000	2
2150	應付票據	六(十)	Ψ 15,000 _		127	3		
2170	應付帳款	六(十)	37,131	4	83,995	8	5,797	1
2200	其他應付款	六(十一)		2	20,575	2	42,426	6
2230	當期所得稅負債	(1)	3,616	_	3,616	_	30,774	4
2322	一年或一營業週期內到	六(十二)	2,839		2,822	_	33,544 2,772	4
	期長期借款	//((-)			2,022		2,772	
2399	其他流動負債		890	1-2	1,028	_	880	_
21xx	流動負債合計		82,692	8	144,163	13	133,193	17
25xx	非流動負債							
2540	長期借款	六(十二)	347,502	33	348,218	31	46,341	6
2600	其他非流動負債		100	-	100	_	208	_
25xx	非流動負債合計		347,602	33	348,318	31	46,549	6
2xxx	負債總計		430,294	41	492,481	44	179,742	23
31xx	歸屬於母公司業主之權益							
3100	股 本							
3110	普 通 股	六(十四)	375,767	35	375,767	34	268,405	34
3200	資本公積							
3210	資本公積一發行溢價	六(十四)	166,353	16	166,353	15	193,194	25
3300	保留盈餘	六(十四)						
3310	法定盈餘公積		19,480	2	19,480	2	6,495	_
3350	未分配盈餘		60,254	6	61,605	. 5	139,957	18
31xx	歸屬於母公司業主之 權益合計		621,854	59	623,205	56	608,051	77
36xx	非控制權益			_	_	_	_	
3xxx	權 益 總 計		621,854	59	623,205	56	608,051	77
	負債及權益總計		\$ 1,052,148	100	\$ 1,115,686	100	\$ 787,793	100

(後附之附註 務報告之一部份)



經理人:







(僅經核閱,未經一般公認審計準則查核)

單位:新臺幣仟元

代碼	項	目	附	註	1	03年1月至3月3		1	02年1月1至3月31日	日
					/3	金額	%	4	金額	%
4000	營業收入		六(十	一六)	\$	51,293	100	\$	59,529	100
5000	營業成本					(32,915	(64)		(44,324)	(74)
5900	營業毛利					18,378	36		15,205	26
6000	營業費用		六(十	-九)						
6100	推銷費用					(7,598	(15)		(6,150)	(10)
6200	管理費用					(10,097)	(20)		(9,740)	(16)
6300	研究發展費用					(1,424	(3)		(1,651)	(3)
	營業費用合計					(19,119	(38)		(17,541)	(29)
6900	營業淨損					(741) (2)		(2,336)	(3)
7000	營業外收入及支出									
7010	其他收入		六(十	ト七)		363	1		639	1
7020	其他利益及損失					(16	5) -		_	_
7050	財務成本一利息費用					(362	(1)		(604)	(1)
	營業外收入及支出	合計				(15	5) -		35	_
7900	稅前淨損					(756	(2)		(2,301)	(3)
7950	所得稅(費用)利益		四、六	(十八)		(595	(1)		198	
8200	本期淨損				\$	(1,351) (3)	\$	(2,103)	(3)
8500	本期綜合損益總額				\$	(1,351) (3)	\$	(2,103)	(3)
8600	淨損歸屬於:					•				
8610	母公司業主				\$	(1,351)	(3)	\$	(2,103)	(3)
8620	非控制權益					_	_		_	_
8700	綜合損益總額歸屬於:									-
8710	母公司業主				\$	(1,35)) (3)	\$	(2,103)	(3)
8720	非控制權益									_
	每股虧損(元)		六(-	五)						
9750	基本每股虧損			3		\$ (0.0	4)		\$ (0.06)	

董事長:



(後附之附註係本合併財務報告之一部份)

經理人:

會計主管:



天剛資訊股份有限公司及子公司 合 解[權] 温豐動 民國 103 年及 (配單可引

日至3月31日 (僅經核閱,未經一般公認審計準則查核) 單位:新臺幣任元

展本会積 法定 268,405 \$ 193,194 \$ 268,405 \$ 193,194 \$ 375,767 \$ 166,353 \$ 		2.88	部	屬於母	公	回業	14 4H	な	刈							
\$ 268,405 \$ 193,194 \$ 268,405 \$ 193,194 \$ 375,767 \$ 166,353 \$ 375,767 \$ 166,353	Ч	4	K	‡ ~			磁	叅		ž	7	非控制	非控制權益		權益總額	Line*
\$ 268,405 \$ 193,194 \$ \$ 268,405 \$ 193,194 \$ \$ 375,767 \$ 166,353 \$ \$ 375,767 \$ 166,353 \$		+	町	本 公積	法反	5 盈餘公積	*	未分配盈餘	泰	24. B.J	1 Ind					
\$ 268,405 \$ 193,194 \$ \$ 375,767 \$ 166,353 \$ 8	↔			193,194	€	6,495	↔	142,060		\$ 61	610,154	∽	I.	↔	610,154	4
\$ 268,405	1日淨損			ĺ		I		(2,103))3)		(2,103)		I		(2,103)	3)
\$ 375,767 \$ 166,353 \$ 8 166,353 \$	€9			193,194	↔	6,495	\$	139,957		09 \$	608,051	€	I	↔	\$ 608,051	
	€\$			166,353	∨	19,480	59	61,605		\$ 62.	623,205	↔	I	↔	623,205	2
\$ 375757	1日淨損			I		1		(1,351)	51))	(1,351)		1		(1,351)	
9 100,010	· 等		\$	166,353	€>	19,480	\$	60,254		\$ 62	621,854	\$	1	₩	\$ 621,854	4

董事長:

(後附之附註係本合併財務報告之一部份) 經理人:

會計主管:



(僅經核閱,未經一般公認審計準則查核)

單位:新臺幣仟元

日				7111	利室帘什九
本期稅前淨損		目			
調整項別金流量之收益費損項目:	本期鉛並漁場		\$ (756)	s	(2.301)
利息收入 利息收入 其地調整項目 與營業票據 應收限軟 其地應收較數 其地應收較數 其地應應收數 其性應的資產 應付票據 (1,636) (922) (4,417) 其他流動資產 應付票據 (127) 其他應所對負債 (138) (127) (10,525) (4,417) (667) 其性應所對負債 (138) (138) (5,802) 其地應所對負債 (138) (5,802) 其地產生之利息 退逐性主之現金流出 收取之利息 退逐性活動金流出 投資活動金流量(债券投資 取得不驗房及設備 存出保證金數之淨現金流出 投資得不驗房及設備 存出保證金數之淨現金流入(出) 等資助對現金及約當現金之影響 本期現金及約當現金及約當,因 (13,699) (13,699) (347) (13,699) (347) (13,699) (347) (13,699) (347) (13,699) (347) (347) (347) (318) (319)	調整項目:		(, , ,		(=,5 01)
利息收入 利息收入 其地調整項目 與營業票據 應收限軟 其地應收較數 其地應收較數 其地應應收數 其性應的資產 應付票據 (1,636) (922) (4,417) 其他流動資產 應付票據 (127) 其他應所對負債 (138) (127) (10,525) (4,417) (667) 其性應所對負債 (138) (138) (5,802) 其地應所對負債 (138) (5,802) 其地產生之利息 退逐性主之現金流出 收取之利息 退逐性活動金流出 投資活動金流量(债券投資 取得不驗房及設備 存出保證金數之淨現金流出 投資得不驗房及設備 存出保證金數之淨現金流入(出) 等資助對現金及約當現金之影響 本期現金及約當現金及約當,因 (13,699) (13,699) (347) (13,699) (347) (13,699) (347) (13,699) (347) (13,699) (347) (347) (347) (318) (319)	不影響現金流量之收益費損	項目:			
利息收入 利息收入 其地調整項目 與營業票據 應收限軟 其地應收較數 其地應收較數 其地應應收數 其性應的資產 應付票據 (1,636) (922) (4,417) 其他流動資產 應付票據 (127) 其他應所對負債 (138) (127) (10,525) (4,417) (667) 其性應所對負債 (138) (138) (5,802) 其地應所對負債 (138) (5,802) 其地產生之利息 退逐性主之現金流出 收取之利息 退逐性活動金流出 投資活動金流量(债券投資 取得不驗房及設備 存出保證金數之淨現金流出 投資得不驗房及設備 存出保證金數之淨現金流入(出) 等資助對現金及約當現金之影響 本期現金及約當現金及約當,因 (13,699) (13,699) (347) (13,699) (347) (13,699) (347) (13,699) (347) (13,699) (347) (347) (347) (318) (319)	折舊費用				
利息收入 利息收入 其地調整項目 與營業票據 應收限軟 其地應收較數 其地應收較數 其地應應收數 其性應的資產 應付票據 (1,636) (922) (4,417) 其他流動資產 應付票據 (127) 其他應所對負債 (138) (127) (10,525) (4,417) (667) 其性應所對負債 (138) (138) (5,802) 其地應所對負債 (138) (5,802) 其地產生之利息 退逐性主之現金流出 收取之利息 退逐性活動金流出 投資活動金流量(债券投資 取得不驗房及設備 存出保證金數之淨現金流出 投資得不驗房及設備 存出保證金數之淨現金流入(出) 等資助對現金及約當現金之影響 本期現金及約當現金及約當,因 (13,699) (13,699) (347) (13,699) (347) (13,699) (347) (13,699) (347) (13,699) (347) (347) (347) (318) (319)	攤銷 質用		158		
其他調整項目 學養業活動相關之資產/負債變動數: 應收收帳款 其他應收款 再貨物類質 應的物質性 與付於不可以 應付他應付款 其他他流動負債 其他他流動負債 其他他流動負債 其他也非流動負債 等實產生之現金流出 收取之利息 退還之生之則金流出 收取之利息 邊營對助全金流出 投資持無方緣的市場之債券投資 處分無部透之債券投資 處分無部透之債券投資 處內分無的之淨現金流出 投資活動之之所得稅 等方針の之所得稅 等方針の之所得稅 等方數之是通過 長期借款 有出保證金減少 投資活動之漁量: 取得不證證金減少 投資活動之漁量: 取得所有稅 等方針之所得稅 等方數之是或檢 是一 以取之淨明金流出 投資所有的之所得稅 等方數之是通過 是一 (13,689) (44,016) (13,689) (44,016) (13,689) (44,016) (13,689) (44,016) (13,652) (604) (31) (31) (31) (31) (31) (31) (31) (31) (31) (32) (33) (34) (44,398) (34) (31) (34) (31) (31) (31) (32) (34)	未 版 轉 列 收 入 數				
其他調整項目 學養業活動相關之資產/負債變動數: 應收收帳款 其他應收款 再貨物類質 應的物質性 與付於不可以 應付他應付款 其他他流動負債 其他他流動負債 其他他流動負債 其他也非流動負債 等實產生之現金流出 收取之利息 退還之生之則金流出 收取之利息 邊營對助全金流出 投資持無方緣的市場之債券投資 處分無部透之債券投資 處分無部透之債券投資 處內分無的之淨現金流出 投資活動之之所得稅 等方針の之所得稅 等方針の之所得稅 等方數之是通過 長期借款 有出保證金減少 投資活動之漁量: 取得不證證金減少 投資活動之漁量: 取得所有稅 等方針之所得稅 等方數之是或檢 是一 以取之淨明金流出 投資所有的之所得稅 等方數之是通過 是一 (13,689) (44,016) (13,689) (44,016) (13,689) (44,016) (13,689) (44,016) (13,652) (604) (31) (31) (31) (31) (31) (31) (31) (31) (31) (32) (33) (34) (44,398) (34) (31) (34) (31) (31) (31) (32) (34)	们总算用 到自此 λ				
興管業活動相關之資産/負債變動數: 應收帳款 其他應收款 有行貨 領付款項 其他應收款 (1,636) (922) 預付於項 其他流動資産 (4,417) (667) 其性流動資産 (127) (10,525) 底付帳款 其他應付款 其他應付款 其他應於數 (127) (10,525) 其他流動負債 (13,51) (11,536) 其他他流動負債 (138) (5,802) 其性非流動負債 (138) (5,802) 其性生之現愈流出 收取之利息 退逐(支付)之所得稅 營業活動之淨現金流出 投資活動之淨現金流出 投資活動之海臺: 取得無活絡市場之債券投資 取得不能證金減少 投資活動之流量: (13,652) (44,398) (2,384) (81) 存力保證金減少 投資活動之流量: (2,384) (81) 存力保證金增加 (2,384) (81) 有方、保證金增加 (3,300) (699) (447) 有入保證金增加 (699) (447) 有入保證金增加 (13,669) (347) (699) (447) (699) (447) (699) (447) (699) (447) (699) (447) (699) (447) (699) (447) (699) (447) (699) (447) (699) (347) (699) (347) (699) (347) (699) (347) (699) (347) (699) (347) (698) (347) (698) (347) (698) (347) (699) (347) (699) (347)	村		(1/1)		
思収版	與營業活動相關之資產/自	倩戀動數:			133
思収版	應收票據		(863)		6.312
其他應收款 存貨預付款項 其他流動資產 應付票據 (4,417) 其他應付數 其他應付數 其他應付數負債 等運產生之現金流出 收取之利息 支付之利息 支付之利息 支付之利息 支付之利息 支付之利息 支付之利息 支付之利息 支持等數之淨現金流出 投資活動之淨現金流出 投資活動之淨現金流出 (13,652) (205) (604) 投資不動產、廠房及設備 存出保證金減少 投資活動之淨現金流入(出) 等類則體素 (2,384) 有出保證金減少 投資活動之淨現金流入(出) 等類則體素 (2,384) 有出保證金減少 投資活動之淨現金流入(出) 等類則體素 (2,384) 有出保證金減少 投資活動之淨現金流入(出) 等類則體素 (2,384) (81) 370 2,528 (2,384) (81) 370 2,528 (2,384) (81) 370 2,528 (2,384) (81) 370 2,528 (447) (699) (447) (490) (4	燃收帳款				9,738
預付款項 其他流動資產 應付無據 (4,417) 應付帳款 其他應付款 其他應付款 其他應所動負債 以下之別。 (13,51) 其他主流動負債 等產生之現金流出 收取之利息 這樣支付之利息 資業活動之淨理金流出 投資無活絡市場之債券投資 取得無活絡市場之債券投資 取得無數之學現金流入(出) 等資數之學現金流入(出) 等資數之學現金流入(出) 等資活動之現金流 與資子對金流之人。 (604) (205) (604) (205) (604) (205) (604) (31) (13,652) (44,398) (13,652) (44,398) (13,652) (44,398) (2,384) (2,384) (81) 370 2,528 (205) (604) (2,384) (81) 370 2,528 (2,384) (81) 370 2,528 (699) (447) (699) (447) (699) (447) (699) (447) (699) (447) (699) (447) (10,872) (52,098) 期初現金及約當現金餘額	其他應收款		3		26
其他流動資產 應付票據 信付票據 使付票款 其他應付款 其他應付款 其他應分數負債 其他非流動負債 等運產生之現金流出 收取之利息 支付之利息 支授之利之之所得稅 營業活動之淨現金流出 投資活動之內毒素 投資活動之決多發備 存出保證金增加 股份不是一級 投資活動之現金流入(出) 等資活動之現金流入(出) 等資活動之形理金流入(出) 等資活動之形理金流入(出) 等資活動之形理金流入(出) 等資活動之形理金流入(出) 等資活動之形理金流入(出) 等資活動之形理金流入(出) 等資活動之形理金流入(出) 等資活動之形理金流入(出) 等資活動之形理金流入(出) 等資活動之形理金流入(出) 等資活動之形理金流入(出) 等資活動之形理金流入(出) 等資活動之形理金流出 (13,000) (699) (447) (699) (447) (699) (447) (13,690) (13	存貨 工				
其他應付款 其他流動負債 營運產生之現金流出 收取之利息 支付之利息 退還(支付)之所得稅 營業活動之淨現金流出 投資無活絡市場之債券投資 取得無活絡市場之債券投資 取得保證金減少 投資活動之淨現金流入(出) 籌資活動之淨現金流入(出) 等資活動之淨現金流出 (13,652) (44,398) (13,652) (44,398) (13,652) (44,398) (13,652) (44,398) (13,652) (44,398) (13,652) (2,384) (81) 370 (2,384) (81) 370 (2,528 (2,384) (81) 370 (699) (447) (699) (447) (699) (447) (699) (447) (699) (447) (699) (447) (699) (347) (10,872) (52,098) 期初現金及約當現金餘額	人		(4,417)		
其他應付款 其他流動負債 營運產生之現金流出 收取之利息 支付之利息 退還(支付)之所得稅 營業活動之淨現金流出 投資無活絡市場之債券投資 取得無活絡市場之債券投資 取得保證金減少 投資活動之淨現金流入(出) 籌資活動之淨現金流入(出) 等資活動之淨現金流出 (13,652) (44,398) (13,652) (44,398) (13,652) (44,398) (13,652) (44,398) (13,652) (44,398) (13,652) (2,384) (81) 370 (2,384) (81) 370 (2,528 (2,384) (81) 370 (699) (447) (699) (447) (699) (447) (699) (447) (699) (447) (699) (447) (699) (347) (10,872) (52,098) 期初現金及約當現金餘額	具他				
其他應付款 其他流動負債 營運產生之現金流出 收取之利息 支付之利息 退還(支付)之所得稅 營業活動之淨現金流出 投資無活絡市場之債券投資 取得無活絡市場之債券投資 取得保證金減少 投資活動之淨現金流入(出) 籌資活動之淨現金流入(出) 等資活動之淨現金流出 (13,652) (44,398) (13,652) (44,398) (13,652) (44,398) (13,652) (44,398) (13,652) (44,398) (13,652) (2,384) (81) 370 (2,384) (81) 370 (2,528 (2,384) (81) 370 (699) (447) (699) (447) (699) (447) (699) (447) (699) (447) (699) (447) (699) (347) (10,872) (52,098) 期初現金及約當現金餘額	他们 示				
世産産生之現金流出 ・ で変産生之現金流出 ・ で取之利息 ・ でででででででででででででででいます。 ・ でででででででででででできます。 ・ ででででででできます。	其他應付款		(1.351)		
世産産生之現金流出 ・ で変産生之現金流出 ・ で取之利息 ・ でででででででででででででででいます。 ・ でででででででででででできます。 ・ ででででででできます。	其他流動負債		(138)		(5.802)
 管運産生之現金流出 收取之利息 支付之利息 退還(支付)之所得稅	具他非流動貝頂		(13-3)		108
支付之利息 退還(支付)之所得稅 營業活動之淨現金流出 投資活動之現金流量: 取得無活絡市場之債券投資 處分無活絡市場之債券投資 取得代證金減少 投資活動之淨現金流入(出) (13,652) (44,398) (13,652) (44,398) (13,652) (44,398) (13,652) (9,800) (81) 370 2,528 (81) 370 2,528 (81) 370 2,528 (7,353) (699) (447) (699) (447) (699) (447) (699) (447) (100) (第資活動之淨現金流出 (13,699) (347) (13,699) (347) (10,872) (52,098) (10,872) (52,098) (10,872) (52,098) (10,872) (52,098)	營運產生之現金流出		(13,689)		
退還(支付)之所得稅	收取之利息				
 管業活動之淨現金流出 投資活動之現金流量: 取得無活絡市場之債券投資 取得不動產、廠房及設備 存出保證金減少 投資活動之淨現金流入(出) (13,652) (44,398) (9,800) 18,493 (2,384) (81) 370 2,528 短期借款減少 (13,000) (447) (699) (447) (699) (447) (699) (447) (13,699) (347) 企業動對現金及約當現金流出 (13,699) (347) 本期現金及約當現金減少數 (10,872) (52,098) 348,804 	之何之利息 思罗(+ 4)之所得私				(604)
投資活動之現金流量: 取得無活絡市場之債券投資 處分無活絡市場之債券投資 取得不動產、廠房及設備 存出保證金減少 投資活動之淨現金流入(出) (2,384) (370 (2,384) (81) (370 (7,353) (7,353) (13,000) (699) (447) 存入保證金增加 (699) (447) 存入保證金增加 (13,699) (347) 匯率變動對現金及約當現金之影響 本期現金及約當現金減少數 (10,872) 期初現金及約當現金餘額 (10,872) (52,098) 248,804	巡巡(又们)之门付税				
取得無活絡市場之債券投資 處分無活絡市場之債券投資 取得不動產、廠房及設備 存出保證金減少 投資活動之淨現金流入(出) 籌資活動之現金流量: 短期借款減少 償還長期借款 存入保證金增加 等資活動之淨現金流出 經率變動對現金及約當現金之影響 本期現金及約當現金減少數 期初現金及約當現金餘額	投資活動之母 先並 加山		(13,032)		(44,398)
處分無活絡市場之債券投資取得不動產、廠房及設備 18,493 (81) 存出保證金減少投資活動之淨現金流入(出) 370 2,528 投資活動之淨現金流入(出) 16,479 (7,353) 籌資活動之現金流量: (13,000) - 短期借款減少存入保證金增加存入保證金增加等 (699) (447) 企業資計現金及約當現金流出 (13,699) (347) 匯率變動對現金及約當現金之影響本期現金及約當現金減少數期初現金及約當現金餘額 (10,872) (52,098) 期初現金及約當現金餘額 35,350 248,804	取得無活絡市場之債券投資	:			(9.800)
取得不動產、廠房及設備 存出保證金減少 投資活動之淨現金流入(出) 等資活動之現金流量: 短期借款減少 償還長期借款 存入保證金增加 事資活動之淨現金流出 匯率變動對現金及約當現金之影響 本期現金及約當現金減少數 期初現金及約當現金餘額 (81) 2,528 (13,000) (13,000) (447) (699) (13,699) (347) (10,872) (52,098) 248,804	處分無活絡市場之債券投資		18,493		(2,000)
存出保證金減少 投資活動之淨現金流入(出) 370 2,528 投資活動之淨現金流入(出) 16,479 (7,353) 籌資活動之現金流量: 短期借款減少 償還長期借款 存入保證金增加 籌資活動之淨現金流出 (13,000) (699) — 匯率變動對現金及約當現金流出 (13,699) (347) 匯率變動對現金及約當現金之影響 本期現金及約當現金減少數 期初現金及約當現金餘額 (10,872) 35,350 (52,098) 248,804	取得不動產、廠房及設備				(81)
投資活動之淨現金流入(出) 16,479 (7,353) 籌資活動之現金流量: (13,000) - 短期借款減少 (699) (447) 存入保證金增加 - 100 籌資活動之淨現金流出 (13,699) (347) 匯率變動對現金及約當現金之影響 - - 本期現金及約當現金減少數 (10,872) (52,098) 期初現金及約當現金餘額 35,350 248,804					2,528
短期借款減少 償還長期借款 存入保證金增加 籌資活動之淨現金流出(13,000) (699) - <b< td=""><td>投資活動之淨現金流入(出</td><td>出)</td><td>16,479</td><td></td><td></td></b<>	投資活動之淨現金流入(出	出)	16,479		
償還長期借款 存入保證金增加 籌資活動之淨現金流出(699) - (100) (347)匯率變動對現金及約當現金之影響 本期現金及約當現金減少數 期初現金及約當現金餘額(13,699) - - (10,872) 35,350(52,098) 248,804			(4.2.000)		
存入保證金增加—100籌資活動之淨現金流出(13,699)(347)匯率變動對現金及約當現金之影響——本期現金及約當現金減少數(10,872)(52,098)期初現金及約當現金餘額35,350248,804			(13,000)		- (4.45)
籌資活動之淨現金流出(13,699)(347)匯率變動對現金及約當現金之影響——本期現金及約當現金減少數(10,872)(52,098)期初現金及約當現金餘額35,350248,804	頂毯		(699)		(447)
匯率變動對現金及約當現金之影響——本期現金及約當現金減少數(10,872)(52,098)期初現金及約當現金餘額35,350248,804			(12 600)		
本期現金及約當現金減少數 (10,872) (52,098) 期初現金及約當現金餘額 35,350 248,804		暑/ 變	(13,099)		(347)
	本期現金及約當現金減少數	- 小 百	(10.872)		(52,008)
	期初現金及約當現金餘額		35,350		
μ	期末現金及約當現金餘額		\$ 24,478	\$	196,706

(後附之附註係本合併財務報告之一部份)

蕃事長



經理人:

會計主管





民國 103 年及 102 年 1 月 1 日至 3 月 31 日 (僅經核閱,未經一般公認審計準則查核) (除另予註明者外,金額為新台幣仟元)

一、公司沿革

天剛資訊股份有限公司(以下稱本公司)於民國78年12月28日奉經濟部核准設立。本公司及本公司之子公司(以下稱合併公司)主要營業項目為設計開發、製造及經銷電腦圖形顯示卡、電子零組件及電工器材設備等;電腦系統之通信傳輸連線作業相關之軟硬體設計、製造、經銷等;電腦軟硬體及其週邊設備之設計、製造、裝配、租賃及經銷;前各項有關之保養、維修業務;住宅大樓及工業廠房開發租售業、不動產買賣業及有價證券投資業等。

本公司股票自民國 85 年 4 月起在財團法人中華民國證券櫃檯買賣中心上櫃買賣。

本合併財務報告係以本公司之功能性貨幣新台幣表達。

二、通過財務報告之日期及程序

本合併財務報告已於民國 103 年 5 月 9 日提報董事會後發布。

三、新發布及修訂準則及解釋之適用

(一)已採用金融監督管理委員會(以下稱金管會)認可之新發布、修訂後 國際財務報導準則之影響

無。

(二)尚未採用金管會認可之新發布、修正後國際財務報導準則之影響 依據金管會民國 103 年 4 月 3 日金管證審字第 1030010325 號令, 上市、上櫃及興櫃公司應自民國 104 年起全面採用經金管會認可 並發布生效之 2013 年版國際財務報導準則(不包含國際財務報 導準則第 9 號「金融工具」)編製財務報告,相關新發布、修正 及修訂之準則及解釋彙列如下:

新發布/修正/修訂準則及解釋 IASB 發布之生效日 國際財務報導準則第 1 號之修正「國際財務報 民國 99 年 7 月 1 日 導準則第 7 號之比較揭露對首次採用者之有限 度豁免」

國際財務報導準則第1號之修正「嚴重高度通民國100年7月1日 貨膨脹及首次採用者固定日期之移除」

國際財務報導準則第1號之修正「政府貸款」民國102年1月1日國際財務報導準則第7號之修正「揭露一金融民國100年7月1日資產之移轉」

國際財務報導準則第7號之修正「揭露一金融民國102年1月1日資產及金融負債之互抵」

國際財務報導準則第10號「合併財務報表」 民國102年1月1日 (投資個體於民國 103年1月1日生效)

國際財務報導準則第11號「聯合協議」 民國102年1月1日國際財務報導準則第12號「對其他個體之權益民國102年1月1日之揭露」

國際財務報導準則第13號「公允價值衡量」 民國102年1月1日國際會計準則第1號之修正「其他綜合損益項民國101年7月1日目之表達」

國際會計準則第12號之修正「遞延所得稅:標民國101年1月1日的資產之回收」

國際會計準則第19號之修訂「員工福利」 民國102年1月1日國際會計準則第27號之修訂「單獨財務報表」民國102年1月1日國際會計準則第28號之修正「投資關聯企業及民國102年1月1日合資」

國際會計準則第32號之修正「金融資產及金融民國103年1月1日負債之互抵」

國際財務報導解釋第20號「露天礦場於生產階民國102年1月1日段之剝除成本」

2010 年對國際財務報導準則之改善民國 100 年 1 月 1 日2009-2011 年對國際財務報導準則之改善民國 102 年 1 月 1 日

經評估後合併公司認為除下列各項外,適用 2013 年版國際財務報 導準則將不致對合併公司造成重大變動:

1.國際財務報導準則第12號「對其他個體之權益之揭露」

該準則整合各號準則對企業所持有子公司、聯合協議、關聯企業及未納入合併報表之結構型個體之權益之揭露規定,並要求 揭露相關資訊。合併公司將依該準則增加有關合併個體及未合 併個體之資訊揭露。

2.國際財務報導準則第13號「公允價值衡量」

該準則定義公允價值為:於衡量日,市場參與者間在有秩序之 交易中出售資產所能收取或移轉負債所須支付之價格。建立公 允價值衡量之架構,須以市場參與者之觀點;對於非金融資產 之衡量須基於最高及最佳使用狀態;並規範公允價值衡量相關 揭露。經評估該準則對合併公司財務狀況與經營結果無重大影 響,並將依規定增加公允價值衡量相關揭露。

(三)國際會計準則理事會已發布但尚未經金管會認可之國際財務報導 準則之影響

下表彙列國際會計準則理事會已發布但尚未納入金管會認可 2013年國際財務報導準則之新發布、修正及修訂之準則及解釋:

新發布/修正/修訂準則及解釋

IASB 發布之生效日

國際財務報導準則第9號「金融工具」 尚未發布強制生效日國際財務報導準則第14號「管制遞延帳戶」 民國105年1月1日國際會計準則第19號之修正「確定福利計畫:員民國103年7月1日工提撥」

國際會計準則第36號之修正「非金融資產可回收 民國103年1月1日金額之揭露」

國際會計準則第39號之修正「衍生工具之合約更民國103年1月1日替及避險會計之繼續」

國際財務報導解釋第21號「公課」

民國 103 年 1 月 1 日

2010-2012 年對國際財務報導準則之改善

民國 103 年 7 月 1 日

2011-2013 年對國際財務報導準則之改善

民國 103 年 7 月 1 日

合併公司現正評估上述新準則、解釋及修正之潛在影響,故暫時 無法合理估計對合併公司之合併財務報告之影響。

四、重大會計政策之彙總說明

除下列說明外,本合併財務報告所採用之會計政策與 102 年度合併財務報告相同。

(一)遵循聲明

本合併財務報告係依照證券發行人財務報告編製準則及經金管會認可之國際會計準則第34號「期中財務報導」編製。本合併財務報告並未包含整份年度財務報告所規定之所有IFRSs 揭露資訊。

(二)編製基礎

除以公允價值衡量之金融工具外,本合併財務季報告係依歷史成本基礎編製,歷史成本通常係依取得資產所支付對價之公允價值 決定。

(三)合併基礎

列入合併財務報告之子公司

本公司之子公司於報導期間結束日之詳細資訊如下:

投資公司名稱	子公司名稱	主要業務	說明
本公司	天鑫投資開發股份有限公司 (天鑫公司)	住宅大樓及工業廠房開發租售 業、不動產買賣業、有價證券 投資業	註 1
"	兆邦開發建設股份有限公司 (兆邦開發公司)	住宅大樓及工業廠房開發租售 業、不動產買賣業	註 2
"	天剛香港股份有限公司(天 剛香港公司)	國際貿易	註3
天鑫公司	天成國際運通股份有限公司 (天成公司)	電腦系統整合	註1

註1:係依據子公司同期間經其他會計師核閱之財務報表予以列入本合併報告。

註 2: 民國 103 年第一季係非重要子公司,其財務報表未經會計師核閱。

註 3:本公司於民國 101 年 12 月經董事會決議通過解散天剛香港股份有限公司。民國 102 年 6 月 28 日宣告解散。

本公司持有之所有權權益百分比

子公司名稱	103年3月31日	102年12月31日	102年3月31日
天鑫公司	100%	100%	100%
兆邦開發公司	100%	100%	100%
天剛香港公司	_	_	100%
天成公司	100%	100%	100%

(四)所得稅

所得稅費用係當期所得稅及遞延所得稅之總和。期中期間之所得 稅係以年度為基礎進行評估,以預期年度總盈餘所適用之稅率, 就期中稅前利益予以計算。

五、重大會計判斷、估計及假設不確定性之主要來源

本合併財務報告所採用之重大會計判斷、估計及假設不確定性主要來 源與 102 年度合併財務報告相同。

六、重要會計科目之說明

(一)現金及約當現金

	103 年	3月31日	102 ਤ	年12月31日	102	年3月31日
庫存現金	\$	265	\$	265	\$	305
支票及活期存款		23,413		35,085		196,401
約當現金						
定期存款		800		_		_
合 計	\$	24,478	\$	35,350	\$	196,706

約當現金包括自取得日起3個月內、高度流動性、可隨時轉換成定 額現金且價值變動風險甚小之定期存款,係用於滿足短期現金承 諾。

(二)無活絡市場之債券投資—流動

	103年3	月 31 日	102 年	12月31日	102 年	- 3月31日
受限制銀行存款	\$	4,010	\$	12,003	\$	8,000
原始到期日超過三個 月以上之定期存款		_		10,500		9,000
合 計	\$	4,010	\$	22,503	\$	17,000

受限制銀行存款係為短期銀行擔保借款所需之質押定存單,請參閱附註八。

(三)應收票據及應收帳款淨額

	103 年	-3月31日	102 年	- 12月31日	102 年	三3月31日
應收票據	\$	2,486	\$	1,623	\$	687
應收帳款	\$	39,941	\$	80,183	\$	67,317
減:備抵呆帳		(-)		(-)		(-)
淨 額	\$	39,941	\$	80,183	\$	67,317

- 1.本公司對客戶之授信期間為發票日後六十天,部分客戶則依照訂 單所定授信期間。備抵呆帳係參考帳齡分析、歷史經驗及客戶目 前財務狀況分析,以估計無法回收之金額。
- 2.本公司針對已逾期但未提列減損之應收帳款,經評估其信用品質 並未發生重大改變且相關帳款仍可回收,故尚無減損疑慮。
- 3.已逾期但未減損應收帳款之帳齡分析如下:

	103年3	31日	102 年	月12月31日	102 -	年3月31日
已逾期但未減損						
30 天內	\$	4,049	\$	10,371	\$	7,052
31 至 60 天		6,045		5,266		17,465
61 至 120 天		331		285		387
120 天以上		412		123		44
合 計	\$	10,837	\$	16,045	\$	24,948

應收帳款之備抵呆帳變動資訊如下:

	•	月1日 31日	,	- 1 月 1 日 月 31 日
期初餘額	\$	_	\$	375
本期迴轉呆帳費用		_		(200)
本期沖銷未能收回之款項				(175)
期末餘額	\$	_	\$	_

(四)其他應收款

	103 年	- 3月31日	102 ਤੋ	年12月31日	102	年 3 月 31 日
應收利息	\$	33	\$	13	\$	_
應收其他		44		47		20,023
減:備抵呆帳		(-)		(-)		(20,000)
	\$	77	\$	60	\$	23

兆邦開發公司於民國 100 年 4 月 25 日提出北投新民別墅投資評估,並與原持有者簽訂買賣契約,總價款為 117,000 仟元,截至民國 101 年 1 月 1 日止,已支付款項計 20,000 仟元。本物件原以信託方式取得建物,卻遭原持有者單方背棄契約,塗銷原信託登記並欲轉售第三人,兆邦公司於民國 101 年 9 月 13 日向法院提出請求損害賠償並返還已支付之價金。民國 102 年 4 月 25 日與原持有者簽訂和解書,並收回原支付訂金及違約金共計新台幣 22,000 仟元。

備抵呆帳之變動

	103年1月至3月3		102年1月1日至3月31日		
期初餘額	\$	_	\$	(20,000)	
本期提列呆帳費用		_		_	
本期迴轉呆帳費用		_		_	
期末餘額	\$	_	\$	(20,000)	

(五)存 貨

103 年	3月31日	102 年	12月31日	102 年	- 3月31日
\$	20,580	\$	22,540	\$	10,876
	(864)		(4,364)		(4,033)
	19,716		18,176		6,843
	114,517		114,517		114,517
\$	134,233	\$	132,693	\$	121,360
	\$	(864) 19,716 114,517	\$ 20,580 \$ (864) 19,716 114,517	\$ 20,580 \$ 22,540 (864) (4,364) 19,716 18,176 114,517 114,517	\$ 20,580 \$ 22,540 \$ (864) (4,364) 19,716 18,176 114,517

- 1.本公司民國 103 年及 102 年 1 月 1 日至 3 月 31 日與存貨相關之銷貨 成本分別為 31,200 仟元及 42,123 仟元。
 - 民國 103 年及 102 年 1 月 1 日至 3 月 31 日銷貨成本包括存貨淨變現價值回升利益 3,500 仟元及 0 仟元,存貨淨變現價值回升係因存貨呆滯情況改善致淨變現價值增加所致。
- 2.天鑫公司長安透天厝於民國 100 年 3 月 21 日與原持有者簽訂買賣契約,總價款為 112,000 仟元,截至民國 103 年 3 月 31 日、102 年 12 月 31 日及 102 年 3 月 31 日止,共計支付 114,517 仟元(包含交易費用、稅費等)。

(六)預付房地款

		103 年	= 3月31日	102 ៨	年12月31日	102年3月31日		
西湖場	是頂大道	\$	30,000	\$	30,000	\$	_	
AI智慧	基總部		300,000		300,000		300,000	
矽能絲	悤部		_		_		30,000	
合	計	\$	330,000	\$	330,000	\$	330,000	

- 1.天鑫公司於民國102年8月15日與自然人簽訂西湖段四小段358 地號土地面積72.8874平方公尺及座落其上之堤頂大道二段建 物一筆含2個車位之買賣契約,截至民國103年3月31日及102 年12月31日止已支付第一、二期款共30,000仟元,總價款為 63,500仟元。
- 2.天鑫公司於民國 101 年 12 月 12 日與睿峰建設開發(股)公司簽訂 土地房屋預定購買契約書。
 - (1)合約內容簡述如下:

A. 買賣標示及權利範圍:

(A)土地部份:座落於台北市內湖區舊宗段 74-8 地號土地,使用分區為科技工業區(D區),謄本面積合計約 1,723.99 平方公尺。

- (B)房屋部份:同上項地號之本基地內預定興建地上八層、 地下三層之廠辦大樓,案名為「AI智慧總部」,天鑫公 司承購此大樓共八戶(整棟)。此大樓面積共計約1,637.34 坪,含主建物面積約948.04坪,附屬建物面積約39.71 坪,共同使用部份面積約2,147.41坪。
- (C)車位部份:天鑫公司購買之停車位屬法定停車位共 44 個,天鑫公司同意該車位之持分面積與應分攤之土地持分面積及登記方式,悉依辦理登記當時地政機關規定登記之,並列入本社區共同使用部分登記所有權。

B.工程總價:

本契約房地總價(含汽車停車位價款)合計為1,025,990仟元。 C.開工及完工日期:

民國 101 年 7 月 30 日起算 37 個月(日曆天)以前完成主建物 附屬建物及使用執照所訂之必要設施。

- (2)截至民國 103 年 3 月 31 日、102 年 12 月 31 日及 102 年 3 月 31 日止,已預付 300,000 仟元(含稅),帳列預付房地款。
- 3.天鑫公司於民國 101 年 3 月 1 日與睿峰建設開發(股)公司簽訂土 地房屋預定購買契約書。

(1)合約內容簡述如下:

A.買賣標示及權利範圍:

(A)土地部份:座落於台北市內湖區舊宗段 80-2 地號等兩筆 土地,使用分區為科技工業區(D區),謄本面積合計約 2,683.34 平方公尺。

- (B)房屋部份:同上項地號之本基地內預定興建地上八層、 地下三層之廠辦大樓,案名為「矽能總部」,天鑫公司 承購此大樓七、八樓共二層。此大樓面積共計約 327.37 坪,含主建物面積約 193.76 坪,附屬建物面積約 19.7 坪,共同使用部份面積約 113.91 坪。
- (C)車位部份:天鑫公司購買之停車位屬法定停車位共 10個,天鑫公司同意該車位之持分面積與應分攤之土地持分面積及登記方式,悉依辦理登記當時地政機關規定登記之,並列入本社區共同使用部分登記所有權。

B.工程總價:

本契約房地總價(含汽車停車位價款)合計為 179,000 仟元。

- (2)截至民國 102 年 3 月 31 日,已預付第一期簽約款項共計 30,000 仟元,帳列預付房地款科目。
- (3)民國 102 年 8 月 20 日與睿峰建設開發(股)公司簽訂土地房屋預定買賣契約書,天鑫公司將出售此資產予原賣方,雙方約定土地價款 123,337.5 仟元,房屋價款 66,412.5 仟元,合約總價 189,750 仟元。全部處分款項於民國 102 年 9 月 3 日收回,處分利益約 10,571 仟元。

(七)採用權益法之投資

1.合併公司投資之關聯企業列示如下:

			帳 面 金 額						,	公司持有之所是及表決權百分	
被 投 資公司名稱	主要業務	設 立 及營運地點		年 3 月 1 日		F 12月		年3月 1日	103年3月31日	102年12月31日	102年3月31日
台灣微龍股份有 限公司	國際貿易	台灣	\$	221	\$	221	\$	221	50%	50%	50%

2.有關合併公司關聯企業之財務資訊彙整如下:

	103年3月	31 日	102年12月31日		102年3月31日	
總資產	\$	768	\$	768	\$	9,419
總負債		45		45		
淨 資 產	\$	723	\$	723	\$	9,419
合併公司所享有關聯 企業淨資產之份額	\$	362	\$	362	\$	4,710
		_	103年1月 至3月31		102年1 至3月	•
本年度營業收	入	:	\$	_	\$	_
本年度淨利		= :	\$	_ 	\$	
本年度其他綜	合損益	:	\$		\$	_

- 3.合併公司持有台灣微龍股份有限公司有表決權之股份為 50%, 但因合併公司未有實質控制力以操控該公司之財務、營運及人 事方針等,故未編入合併財務報表中。
- 4.採用權益法之投資及本公司對其所享有之損益及其他綜合損益 份額,係按未經會計師查核之財務報表計算;惟合併公司管理 階層認為台灣微龍股份有限公司財務報表未經會計師查核,尚 不致產生重大影響。

(八)不動產、廠房及設備

	103年3月31日		102 年	- 12月31日	102年3月31日	
土 地	\$	446,288	\$	446,288	\$	_
模具設備		_		195		291
電腦通訊設備		180		96		384
運輸設備		1,247		1,320		1,551
未完工程		8,483		6,100		_
資產總計	\$	456,198	\$	453,999	\$	2,226

- 1.除認折舊費用外,合併公司之不動產、廠房及設備於民國 103 年及 102 年 1 月 1 日至 3 月 31 日並未發生重大增添、處分及減 損情形。
- 2.不動產、廠房及設備借款成本資本化金額及利率區間:

	年1月1日 3月31日	102年1月1日 至3月31日		
資本化金額	\$ 2,204	\$ _		
資本化利率區間	2.9%	_		

3.合併公司不動產、廠房及設備折舊費用攤提年限如下:

電腦通訊設備 3至12年運輸設備 5年辦公設備 5年租賃改良 3年

- 4.合併公司因業務需要於民國 102 年 4 月 2 日經董事會通過取得 座落於台北市文湖區文德段五小段地號之土地用以興建營運總 部大樓,並於民國 102 年 5 月 16 日與原持有者簽訂土地買賣契 約,買賣總價款為 435,060 仟元,相關仲介費及規費等為 11,228 仟元,合計 446,288 仟元。前述土地已於民國 102 年 6 月 20 日 辦妥土地所有權移轉登記。
- 5.合併公司提供作為借款擔保之不動產、廠房及設備請參閱附註 八。

(九)短期借款

	103年3月31日		102年1	2月31日	102年3月31日		
銀行信用借款	\$	14,000	\$	19,000	\$	10,000	
銀行擔保借款		5,000		13,000		7,000	
合 計	\$	19,000	\$	32,000	\$	17,000	
利率區間	1.80%~	~2.25%	1.80%	~2.25%	1.989	√ ₆ ~2.50%	

有關資產提供作為短期借款之擔保情形請詳附註八。

(十)應付票據及帳款

		103年3	月 31 日	102 年	12月31日	102 년	手3月31日
應付	票據	\$	_	\$	127	\$	5,797
應付	帳款		37,131		83,995		42,426
合	計	\$	37,131	\$	84,122	\$	48,223

- 1.應付款項之平均賒帳期間為六十天,合併公司訂有財務風險管理 政策,以確保所有應付款於預先約定之信用期限內償還。
- 2.合併公司暴露於流動性風險之應付款項及其他應付款相關揭露,請參閱附註六(廿二)。

(十一)其他應付款

	103 年	- 3月31日	102 年	- 12月31日	102 -	年 3 月 31 日
應付薪資及獎金	\$	6,386	\$	5,899	\$	8,586
應付員工紅利		4,849		7,656		11,173
應付董監酬勞		1,175		1,174		5,587
其 他		6,806		5,846		5,428
合 計	\$	19,216	\$	20,575	\$	30,774

(十二)長期借款

	103	年3月31日	102	年 12 月 31 日	102	年3月31日
銀行擔保借款						
合作金庫銀行	\$	304,000	\$	304,000	\$	_
第一商業銀行		46,341		47,040		49,113
減:一年內到期之長期 借款		(2,839)		(2,822)		(2,772)
	\$	347,502	\$	348,218	\$	46,341
利率區間	2.4	0%~2.90%	2.4	40%~2.90%		2.40%
•		-		·		·

- 1.合併公司為購置不動產,分別自民國 102 年 6 月向合作金庫銀行新增擔保借款 304,000 仟元,於到期日一次清償,及 101 年 10 月向第一商業銀行新增擔保借款 50,000 仟元,共分 180 期,每月平均攤還;借款期間分別為民國 102 年 6 月 21 日至 105 年 4 月 21 日(於 103 年 4 月 22 日起轉貸於陽信商業銀行,期間為 103 年 4 月 22 日至 106 年 4 月 21 日,到期一次償還)及 102 年 2 月 21 日至 117 年 2 月 21 日(原借款期間為民國 101 年 10 月 17 日至 116 年 10 月 16 日,於民國 102 年 2 月 7 日轉貸)。
- 2.有關資產提供作為長期借款之擔保情形請參閱附註八。

(十三)員工退休金

確定提撥計畫

本公司依「勞工退休金條例」訂定之員工退休計畫,係屬確定 提撥計畫。前述公司依員工每月薪資百分之六提撥退休金至勞 工保險局之個人專戶。本公司須依當地相關法令,就當地員工 每月薪資總額之特定比率提撥退休金至退休金管理事業。依上 述相關規定,本公司於民國 103 年及 102 年 1 月 1 日至 3 月 31 日於合併綜合損益表認列為費用之退休金成本分別為 675 仟元 及 677 仟元。

(十四)權 益

1.普通股股本

額定股本 已發行股本

103	年3月31日	102 -	年12月31日	102	年3月31日
\$	1,500,000	\$	1,500,000	\$	1,500,000
\$	375,767	\$	375,767	\$	268,405

- (1)本公司於民國 102 年 6 月 13 日經股東常會決議,為盈餘暨 資本公積轉增資發行新股分別為 8,052 仟股及 2,684 仟股。 此項增資案於民國 102 年 7 月 12 日業經主管機關核准在 案,並以民國 102 年 8 月 17 日為增資基準日。
- (2)截至民國 103 年 3 月 31 日、102 年 12 月 31 日及 102 年 3 月 31 日止,本公司額定股數皆為 150,000 仟股,每股面額 10 元,已發行股份分別為 37,577 仟股、37,577 仟股及 26,841 仟股。

2.資本公積

103年3月31日102年12月31日102年3月31日股票發行溢價\$ 166,353\$ 166,353\$ 193,194

資本公積中屬超過票面金額發行股票之溢額(包括以超過面額發行普通股等)及受領贈與之部分得用以彌補虧損,亦得於公司無虧損時,用以發放現金股利或撥充股本,惟撥充股本時每年以實收股本之一定比率為限。

3.保留盈餘及股利政策

- (1)依據本公司章程規定,分派每一年度當期之淨利時,應先 撥補虧損,再分配如下:
 - A.先提撥百分之十為法定盈餘公積;但法定盈餘公積累積 已達本公司資本總額時,不在此限;
 - B.次依法令或主管機關規定提撥特別盈餘公積;
 - C.次提所餘盈餘不高於百分之五作為董監酬勞,及不低於百分之十,不高於百分之十二作為員工紅利。本公司及從屬企業員工分配員工紅利之辦法授權董事會另訂之; 民國102年6月13日股東常會決議通過修改董監酬勞以不高於百分之十及員工紅利以百分之一至百分之十五提列。
 - D.股東紅利就上列各款分配後之餘額,連同期初累積未分 配盈餘及當年度未分配盈餘調整數額,由股東會決議酌 予保留全部或部分後分派之。
- (2)本公司目前正處於成長階段,為健全公司財務結構並保障 股東權益,本公司將採平衡股利政策,股利之發放以股票 股利為主,另得搭配現金股利,若有發放現金股利,則不 低於當年度股利總額之百分之十,惟若依分配比例低於每 股 0.1 元時,得全數發放股票股利。

- (3)法定盈餘公積應繼續提撥至其總額達實收股本總額為止。 法定盈餘公積得用以彌補虧損。公司無虧損者,得以法定 盈餘公積超過實收股本百分之二十五之部分按股東原有股 份之比例發給新股或現金。
- (4)本公司依金管證發字第 1010012865 號函及「採用國際財務報導準則(IFRSs)後,提列特別盈餘公積之適用疑義問答」規定提列及迴轉特別盈餘公積。嗣後其他股東權益減項餘額有迴轉時,得就迴轉部分分派盈餘。
- (5)本公司民國 103 年及 102 年 1 月 1 日至 3 月 31 日皆為虧損, 故本公司並未估列民國 103 年及 102 年 1 月 1 日至 3 月 31 日員工紅利及董監酬勞。
- (6)本公司董事會於民國 103 年 3 月 14 日及 103 年 5 月 9 日決 議通過 102 年度盈餘分配情形如下:

		102	年	度	
	金	額		每股股	设利(元)
法定盈餘公積	\$	1,305	\$	S	_
股票股利		37,577			1
	\$	38,882	_		

本公司董事會亦同時決議配發 102 年度員工紅利 1,175 仟元及董監酬勞 1,175 仟元,前述擬配發金額與本公司 102 年度以費用列帳之金額並無差異。另本次董事會決議以資本公積 37,577 仟元轉增資。

有關本公司 102 年度之盈餘分配案員工紅利及董監酬勞尚 須待 103 年度召開之股東常會決議。

上述盈餘分配之相關資訊,請自台灣證券交易所「公開資訊觀測站」等管道查詢。

(7)本公司股東常會於民國 102 年 6 月 13 日決議通過 101 年度 盈餘分配情形如下:

		101	年 度	
	金	額	每股股利(元	<u>c)</u>
法定盈餘公積	\$	12,985	\$	_
股票股利		80,521		3
	\$	93,506	_	

本公司股東常會亦同時決議配發 101 年度員工紅利 11,173 仟元及董監酬勞 5,587 仟元,前述擬配發金額與本公司 101 年度以費用列帳之金額並無差異。另本次股東常會決議以 資本公積 26,841 仟元轉增資。

上述盈餘分配之相關資訊,請自台灣證券交易所「公開資訊觀測站」等管道查詢。

(十五)每股虧損

	1月1日 31日	102年1月1日 至3月31日		
基本每股虧損	\$ (0.04)	\$	(0.06)	

用以計算基本每股虧損之盈餘及普通股加權平均股數如下:

	年1月1日 3月31日	年1月1日 3月31日
歸屬於母公司業主之淨 損(仟元)	\$ (1,351)	\$ (2,103)
計算基本每股盈餘之普通股加權平均股數(仟股)	37,577	37,577
基本每股虧損(元)	\$ (0.04)	\$ (0.06)

計算每股虧損時,無償配股之影響已列入追溯調整。因追溯調整,102年1月1日至3月31日之基本每股虧損分別由(0.08)元減少為(0.06)元。

(十六)營業收入

合併公司所產生收入之分析如下:

		F1月1日 月31日	102年1月1日 至3月31日			
商品銷售收入	\$	39,993	\$ 48,639			
技術服務收入		10,848	10,683			
佣金收入		145	46			
維修收入		307	161			
合 計	\$	51,293	\$ 59,529			
(十七) <u>其他收入</u>	103年1月1日 至3月31日		•		102年1月1日 至3月31日	
利息收入	\$	196	\$ 313			
租金收入		123	123			
其他收入-其他		44	 203			
合 計	\$	363	\$ 639			

(十八)所得稅

1.認列於損益之所得稅

所得稅費用(利益)之主要組成項目如下:

	103年1至3月		102年1月1日 至3月31日		
當期所得稅費用					
當期產生	\$	_	\$	42	
以前年度調整		_		_	
遞延所得稅					
當期產生		595		(240)	
認列於損益之所得稅 費用(利益)	\$	595	\$	(198)	

2. 兩稅合一相關資訊:

	103 年	3月31日	102 年	12月31日	102 年	3月31日
未分配盈餘						
86 年度以前未分配盈餘	\$	_	\$	_	\$	_
87 年度以後未分配盈餘		60,254		61,605		139,957
	\$	60,254	\$	61,605	\$	139,957
股東可扣抵稅額帳戶餘額	\$	7,421	\$	7,421	\$	21,666
		102 年	- 度(預言	計) 1	01 年度	度(實際)
實際(預計)稅額扣抵比率		1	2.05%		15.2	27%

依所得稅法規定,本公司分配屬於87年度(含)以後之盈餘時, 本國股東可按股利分配日之稅額扣抵比率計算可獲配之股東可 扣抵稅額。由於實際分配予股東之可扣抵稅額,應以股利分配 日之股東可扣抵稅額帳戶餘額為準,因此本公司預計102年度 盈餘分配之稅額扣抵比率可能與將來實際分配予股東時所適用 之稅額扣抵比率有所差異。

依台財稅字第 10204562810 號規定,首次採用 IFRSs 之當年度 計算稅額扣抵比率時,其帳載累積未分配盈餘應包含因首次採 用國際財務報導準則產生之保留盈餘淨增加數或淨減少數。

3.所得稅核定情形

合併公司屬國內者,本公司、兆邦公司及天成公司皆業經稅捐機關核定至 101 年度;天鑫公司業經稅捐稽徵機關核定至民國 100 年度。

(十九)費用性質之額外資訊

本期發生之員工福利、折舊、折耗及攤銷費用功能別彙總如下:

功能別性質別	103年1月1日 至3月31日	102年1月1日 至3月31日		
正具加	屬於營業費用者	屬於營業費用者		
員工福利費用	\$ 14,433	\$ 12,997		
薪資費用	12,174	10,951		
勞健保費用	1,439	1,257		
退休金費用	675	677		
其他員工福利費用	145	112		
折舊費用	185	237		
攤銷費用	158	170		

(二十)非現金交易資訊

本期無重大非現金交易資訊。

(廿一)資本管理

合併公司之資本風險管理之目標、政策及程序,以及合併公司 資本結構之組成與民國 102 年度合併財務報告所述者相同,相 關說明參閱民國 102 年度合併財務報告附註六(廿五)。

(廿二)金融工具

1.金融工具之種類

103年3月31日		102年12月31日		102年3月31日	
\$	24,478	\$	35,350	\$	196,706
	4,010		22,503		17,000
	42,427		81,806		68,004
	77		60		23
	41,661		42,031		32,585
\$	112,653	\$	181,750	\$	314,318
	\$	\$ 24,478 4,010 42,427 77 41,661	\$ 24,478 \$ 4,010 42,427 77 41,661	\$ 24,478 \$ 35,350 4,010 22,503 42,427 81,806 77 60 41,661 42,031	4,010 22,503 42,427 81,806 77 60 41,661 42,031

金融負債

短期借款	\$ 19,000	\$ 32,000	\$ 17,000
應付票據及帳款	37,131	84,122	48,223
其他應付款	19,216	20,575	30,774
長期借款(含一年 內到期部分)	350,341	351,040	49,113
存入保證金	100	100	100
合 計	\$ 425,788	\$ 487,837	\$ 145,210

2.財務風險管理目的

本期無重大變化,請參閱民國 102 年度合併財務報告。

3.重大財務風險之性質及程度

除以下說明者外,本期無重大變動,請參閱民國 102 年度合併財務報告。

(1)營運相關信用風險

為維持應收帳款的品質,合併公司已建立營運相關信用風險管理之程序。

個別客戶的風險評估係考量包括該客戶之財務狀況、信評 機構評等、合併公司內部信用評等、歷史交易紀錄及目前 經濟狀況等多項可能影響客戶付款能力之因素。合併公司 亦會在適當時機使用某些信用增強工具,如預付貨款及信 用保險等,以降低特定客戶的信用風險。

截至民國 103 年 3 月 31 日、102 年 12 月 31 日及 102 年 3 月 31 日,前十大客户之應收帳款餘額占合併公司應收帳款餘額之百分比分別為 46.55%、32.14%及 47.79%,其餘應收帳款之信用集中風險相對並不重大。

(2)流動性風險管理

合併公司管理流動性風險之目標,係為維持營運所需之現 金及約當現金、高流動性之有價證券及足夠的銀行融資額 度等,以確保合併公司具有充足的財務彈性。

下表係按到期日及未折現之到期金額彙總列示合併公司已 約定還款期間之金融負債分析:

		103 年 3 月 31 日								
	短	旅1年	2	~3年	4	~5年	5	年以上	合	計
非衍生金融負債						_				
短期借款	\$	19,084	\$	_	\$	_	\$	_	\$	19,084
應付票據及帳款		37,131		_		_		_		37,131
其他應付款		19,216		_		_		_		19,216
長期借款		12,736		321,391		7,840		34,955	(376,922
存入保證金		100		_		_		_		100
	\$	88,267	\$	321,391	\$	7,840	\$	34,955	\$ 4	452,453
·										
	102 年 12 月							日		
	短	於1年	2	~3年	4	-~5年	5	年以上		計
非衍生金融負債										
短期借款	\$	34,966	\$	_	\$	_	\$	_	\$	34,966
應付票據及帳款		84,122		_	-	_		_		84,122
其他應付款		20,575		_	-	_		_		20,575
長期借款		12,736		323,595	-	7,840		35,935	(380,106
存入保證金		100		_	-	_		_		100
	\$	152,499	\$	323,595	\$	7,840	\$	35,935	\$:	519,869
				102	年		31	日		
	短	於1年	2	~3年	4	~5年	5	年以上	合	計
非衍生金融負債										
短期借款	\$	17,100	\$	_	\$	_	\$	_	\$	17,100
應付票據及帳款		46,841		1,382		_		_		48,223
其他應付款		30,774		_		_		_		30,774
長期借款		3,920		7,840		7,840		38,875		58,475
存入保證金		100		_						100
	\$	98,735	\$	9,222	\$	7,840	\$	38,875	\$	154,672

4.金融工具之公允價值

(1)金融工具之公允價值

 103 年 3 月 31 日
 102 年 12 月 31 日
 102 年 3 月 31 日

 帳面金額
 公允價值
 帳面金額
 公允價值

 帳面金額
 公允價值

金融資產

金融負債

長期借款 350,341 350,341 351,040 351,040 49,113 49,113 (含一年內 到期部份)

(2)衡量公允價值所採用之評價技術及假設

合併公司金融資產及金融負債公允價值之決定,係使用下 列方法及假設為之:

- A.上述金融商品不包含現金及約當現金、應收款項、短期 借款及應付款項。此類金融商品之到期日甚近,其帳面 價值應屬估計公允價值之合理基礎。上述金融商品亦不 包含存出保證金及存入保證金,因其返還日期具不確定 性,故以其在資產負債表上帳面價值估計公允價值。
- B.長期銀行借款係以其預期現金流量之折現值估計公允價值,其帳面價值約當公允價值。
- C.無活絡市場之債券投資係以攤銷後成本衡量,其帳面價值 值趨近於其公允價值。

七、關係人交易

本公司與子公司(係本公司之關係人)間之交易金額及餘額,於編製合併財務報告時已予以銷除,並未揭露於本附註。合併公司與其他關係人間之交易明細揭露如下:

(一)母公司與最終控制者:

本公司為合併公司之最終控制者。

(二)與關係人重大交易:

1.預付房地款

關係人類別	103 -	年3月31日	102 3	年12月31日	102年3月31日		
其他關係人—本公司大 股東之配偶	\$	30,000	\$	30,000	\$	_	
其他關係人—睿峰建設 開發(股)公司		300,000		300,000		330,000	
	\$	\$ 330,000		\$ 330,000		330,000	

- (1)天鑫公司於民國 102 年 8 月 15 日與持有本公司股權 10%以上大股東之配偶簽訂內湖區西湖四小段 358 地號土地及座落其上之建物 1 筆,以及停車位 2 個之買賣契約,總價款 63,500仟元。截至民國 103 年 3 月 31 日及 102 年 12 月 31 日止已支付 30,000 仟元。
- (2)睿峰建設開發(股)公司(睿峰建設)之負責人係本公司大股東之二親等親屬。天鑫公司與睿峰建設分別於民國 101 年 12 月 12 日及 101 年 3 月 1 日簽訂「AI 智慧總部」及「矽能總部」之預訂買賣契約,總價分別為 1,025,990 仟元及 179,000仟元,「AI 智慧總部」截至民國 103 年 3 月 31 日、102 年 12 月 31 日及 102 年 3 月 31 日止已支付 300,000 仟元,「矽能總部」截至民國 102 年 3 月 31 日止已支付 30,000 仟元。民國 102 年 8 月 20 日天鑫公司出售「矽能總部」予原賣方,雙方約定合約總價 189,750 仟元,全部處分款項於民國 102 年 9 月 3 日收回,處分利益約 10,571 仟元,相關說明請參閱附註六(六)。

(三)對主要管理階層之獎酬

對董事及其他主要管理階層成員之薪酬資訊如下:

	年1月1日 3月31日	102年1月1日 至3月31日		
短期福利	\$ 1,545	\$ 5,494		

八、質抵押之資產

合併公司資產提供擔保明細如下:

				帳	ζ	面	價	值	
名	稱	擔保 用途	103 年	3月31日	102	年 12	月 31 日	102	年3月31日
定期存款(巾市場之債券		短期 借款	\$	4,010	\$		12,003	\$	8,000
存貨一待售	房地	長期 借款		114,517			114,517		114,517
不動產、廠	房及設備	長期 借款		446,288			446,288		_
合 計			\$	564,815	\$		572,808	\$	122,517

九、重大或有負債及未認列之合約承諾

截至民國 103 年 3 月 31 日止,因標案工程所開立之存出保證票據為 8,855 仟元。

十、重大之災害損失:無。

十一、重大之期後事項:無。

十二、其 他:無。

十三、附註揭露事項

編製合併財務報告時,母子公司間重大交易及其餘額業已全數銷除。

(一)重大交易事項相關資訊:

1.資金貸與他人:無。

- 2.為他人背書保證:附表一。
- 3.期末持有有價證券情形:附表二。
- 4.累積買進或賣出同一有價證券之金額達新台幣三億元或實收 資本額百分之二十以上:無。
- 5.取得不動產之金額達新台幣三億元或實收資本額百分之二十以上:無。
- 6.處分不動產之金額達新台幣三億元或實收資本額百分之二十 以上:無。
- 7.與關係人進、銷貨之金額達新台幣一億元或實收資本額百分之 二十以上:無。
- 8.應收關係人款項達新台幣一億元或實收資本額百分之二十以 上:無。
- 9.從事衍生工具交易:無。
- 10.母子公司間及各子公司間之業務關係及重要交易往來情形及金額:附表三。
- (二)轉投資事業相關資訊:

被投資公司名稱、所在地區等相關資訊:附表四。

(三)大陸投資資訊:無。

十四、部門資訊

(一)營運部門

合併公司營運部門損益主要係以營業損益為衡量,並作為評估 績效之基礎。此外,營運部門所使用之會計政策與附註四所述 之重大會計政策彙總說明並無重大不一致。

(二)部門收入與營運結果

合併公司部門收入與營運結果之資訊如下:

(一)部門損益、資產與負債之資訊:

單位:新台幣仟元

		103 年	第一季	
項目	資 訊	投資	調節及銷除	合 計
來自企業外部客戶之部門收入	\$ 51,293	\$ -	\$ -	\$ 51,293
來自企業內其他營運 部門之收入	_	_	_	_
部門損益	(160)	(596)	_	(756)
部門資產	593,560	458,588	_	1,052,148
部門資產包含:				
採權益法之長期股 權投資	_	221	_	221
部門負債	377,642	52,652	_	430,294
		102 年	第一季	
項目	資 訊	102 年 投 資	第 一 季調節及銷除	合 計
項 目		,	•	合 計 \$ 59,529
來自企業外部客戶之	\$ 59,529	投資	調節及銷除	
來自企業外部客戶之 部門收入 來自企業內其他營運	\$ 59,529	投資	調節及銷除	
來自企業外部客戶之 部門收入 來自企業內其他營運 部門之收入	\$ 59,529	投資 -	調節及銷除	\$ 59,529
來自企業外部客戶之 部門收入 來自企業內其他營運 部門之收入 部門損益	\$ 59,529	投 \$ - (681)	調節及銷除	\$ 59,529 - (2,301)
來自企業外部客戶之 部門收入 來自企業內其他營運 部門之收入 部門損益 部門資產	\$ 59,529 - (1,620) 162,915	投 \$ - (681)	調節及銷除	\$ 59,529 - (2,301)

部門損益係指各個部門所賺取之利潤(虧損),不包含所得稅。此 衡量金額係提供予主要營運決策者,用以分配資源予部門及評 量其績效。來自企業內其他營運部門之收入係部門間銷售貨物 或提供勞務之收入。

附表一

天剛資訊股份有限公司及子公司

為他人背書保證

民國 103 年 1 月 1 日至 3 月 31 日

單位:新台幣仟元

編號(註1)		背書 保證 公司名稱	對象關係(註2)	對單一企業 背書保證 限 額 (註 3、註 8)		期末背書保證餘額(註5)		以財產擔保 之背書保證 金 額	累計背書保 證金額財務 近期財務 表 淨 值 之比率(%)	背書保證 最高限額 (註3、註8)	屬母公司 對子書保證 (註7)	屬子公司 對母公司 背書保證 (註7)	屬對大陸 地區背書 保 證 (註 7)
0	本公司	天鑫投資	2	\$248,742	\$22,000	\$40,000	\$5,000	\$4,000	0.8%	\$310,927	Y	_	_
1	兆邦開發	本公司	4	8,819	8,000	8,000	_	_	_	11,024	_	Y	_

- 註1:編號欄之說明如下:
 - 1.發行人填 0。
 - 2.被投資公司按公司別由阿拉伯數字1開始依序編號。
- 註 2: 背書保證者與被背書保證對象之關係有下列六種,標示種類即可:
 - 1.有業務關係之公司。
 - 2.直接持有普通股股權超過百分之五十之子公司。
 - 3.母公司與子公司持有普通股股權合併計算超過百分之五十之被投資公司。
 - 4.對於直接或經由子公司間接持有普通股股權超過百分之五十之母公司。
 - 5.基於承攬工程需要之同業間依合約規定互保之公司。
 - 6.因共同投資關係由各出資股東依其持股比例對其背書保證之公司。
- 註 3:應填列公司依為他人背書保證作業程序,所訂定對個別對象背書保證之限額及背書保證最高限額,並於備註欄說明背書保證個別對象及總限額之計算方法。
- 註 4: 當年度為他人背書保證之最高餘額。
- 註 5: 截至年底舉凡公司向銀行簽具背書保證契約或票據之額度獲准時,即承擔背書或保證責任;另其他相關有背書保證情事者,皆應入計背書保證餘額中。
- 註 6:應輸入被背書保證公司於使用背書保證餘額範圍內之實際動支金額。
- 註7:屬上市櫃母公司對子公司背書保證者、屬子公司對上市櫃母公司背書保證者、屬大陸地區背書證者始須填列Y。
- 註8:1.本公司對外辦理保證之總額不得達本公司當期淨值百分之五十,對單一事業背書保證額度以不超過本公司當期淨值之百分之四十為限。
 - 2.子公司間辦理保證之總額不得達該公司當期淨值百分之五十,對單一事業背書保證額度以不超過該公司當期淨值之百分之四十為限。
- 註9:編製合併報表時業已銷除。

附表二

天剛資訊股份有限公司及子公司 期末持有有價證券

民國 103 年 3 月 31 日

單位:新台幣仟元

				期		末	/H: + 1-	
持有之公司	有價證券種類及名稱(註 1)	與有價證券發行人之關係(註2)	帳 列 科 目	仟股/單位	帳面金額 (註3)	持股比率%	公允價值	備註 (註 4)
本公司	天新資訊(股)公司	_	以成本法衡量之金融資產	227		7.55	_	
天鑫投資開發 股份有限公司	彩煇科技(股)公司	_	以成本法衡量之金融資產	2,724	_	4.01	2,615	
"	天新資訊(股)公司	_	11	73		3.33	_	

註1:本表所稱有價證券,係指屬國際會計準則第39號「金融工具:認列與衡量」範圍內之股票、債券、受益憑證及上述項目所衍生之有價證券。

註 2: 有價證券發行人非屬關係人者,該欄免填。

註 3:按公允價值衡量者,帳面金額乙欄請填公允價值評價調整後及扣除累計減損之帳面餘額;非屬按公允價值衡量者,帳面金額乙欄請填原始取得成本或攤銷後成本扣除累計減損之帳面餘額。

註 4: 所列有價證券有因提供擔保、質押借款或其他依約定而受限制使用者,應於備註欄註明提供擔保或質借股數、擔保或質借金額及限制使用情形。

附表三

<u>天剛資訊股份有限公司及子公司</u> 母子公司間及各子公司間之業務關係及重要交易往來情形及金額

民國 103 年 1 月 1 日至 3 月 31 日

編號			與交易人	交易往來情形								
(註 1)	交易人名稱	交易往來對象	之關係 (註 2)	科	目	金	額	交	易	條	件	佔合併總營收或 總資產之比率(%) (註 3)
0	本公司	天成公司	1	銷貨	收入	\$	516	依雙之	方約2	定價相	各出售	1.01%
				應收	帳款		542		月結	30 £	į	0.05%

- 註1:母公司及子公司相互間之業務往來資訊應分別於編號欄註明,編號之填寫方法如下:
 - 1.母公司填 0。
 - 2.子公司依公司別由阿拉伯數字1開始依序編號。
- 註 2:與交易人之關係有以下三種,標示種類即可(若係母子公司間或各子公司間之同一筆交易,則無須重複揭露。如:母公司對子公司之交易,若母公司已揭露,則子公司部分無須重複揭露;子公司對子公司之交易,若其一子公司已揭露,則另一子公司無須重複揭露):
 - 1.母公司對子公司。
 - 2.子公司對母公司。
 - 3.子公司對子公司。
- 註 3:交易往來金額佔合併總營收或總資產比率之計算,若屬資產負債項目者,以期末餘額佔合併總資產之方式計算;若屬損益項目者,以期中累積金額佔合併總營收之方式計算。
- 註 4: 本表之重要交易往來情形得由公司依重大性原則決定是否須列示。
- 註5:編製合併報表時業已銷除。
- 民國102年1月1日至3月31日:無此情形。

附表四

天剛資訊股份有限公司及子公司

被投資公司名稱、所在地區...等相關資訊(不包含大陸被投資公司)

民國 103 年 1 月 1 日至 3 月 31 日

單位:新台幣仟元

投資公司	被投資公司	2	上西秋坐云口	原始投	資金額	期	末 持	有	被投資公司	本期認列之	/#
名 稱	名 稱	所在地區	主要營業項目	本期期末	去年年底	股數(仟股)	比率(%)	帳面金額	本期損益 (註 2(2))	投資損益 (註 2(3))	備註
本公司	兆邦開發建設 (股)公司	台北市中山北路三段27號3樓之5		\$ (註 4)	\$ (註 4)	100	100.00	\$ 4,022	\$ (25)	\$ (25)	子公司
,,,	工金奶咨問孫	台北市中山北路	賣業	500,000	500,000	50,000	100.00	403,948	(740)	(740)	
		三段27號3樓之5		300,000	300,000	30,000	100.00	403,946	(740)	(740)	"
"		台北市八德路三		1,000	1,000	100	10.00	45	_	_	關聯 企業
天鑫投資開發 股份有限公司		台北市中山北路 三段27號3樓之5		10,000	10,000	1,000	100.00	2,034	(169)		孫公司
"		台北市八德路三段36號11樓	精密儀器、機械 器具批發零售	4,000	4,000	400	40.00	176	_		關聯 企業

註 1:公開發行公司如設有國外控股公司且依當地法令規定以合併報表為主要財務報表者,有關國外被投資公司資訊之揭露,得僅揭露至該控股公司之相關資訊。 註 2:非屬註 1 所述情形者,依下列規定填寫:

- (1)「被投資公司名稱」、「所在地區」、「主要營業項目」「原始投資金額」及「期末持股情形」等欄,應依本(公開發行)公司轉投資情形及每一直接或間接控制之被投資公司再轉投資情形依序填寫,並於備註欄註明各被投資公司與本(公開發行)公司之關係(如係屬子公司或孫公司)。
- (2)「被投資公司本期損益」乙欄,應填寫各被投資公司之本期損益金額。
- (3)「本期認列之投資損益」乙欄,僅須填寫本(公開發行)公司認列直接轉投資之各子公司及採權益法評價之各被投資公司之損益金額,餘得免填。於填寫「認列直接轉投資之各子公司本期損益金額」時,應確認各子公司本期損益金額業已包含其再轉投資依規定應認列之投資損益。

註3:母、子、孫公司編製合併報表時業已銷除。

註 4: 兆邦公司原始投資 121,122 仟元,102 年第二季減資退還股款 134,122 仟元 (盈餘轉增資 14,000 仟元)。